

男1 東京都B vs 兵庫県

開催場所	東京体育館TC	開始時間/終了時間
試合区分	男1	主審
開催期日	2016年03月29日	副審

東京都B	83	23	1st	13	40	兵庫県
		25	2nd	8		
		17	3rd	7		
		18	4th	12		

テーブルレポート

東京都B

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		海貝 太一	2	0	1	0	1
5		水品 翔太	11	1	3	2	2
6	*	小野寺 恒洋	0	0	0	0	0
7	*	山内 龍也	16	2	5	0	2
8		山口 浩太郎	0	0	0	0	1
9	*	網田 亜麻	11	0	5	1	0
10		五島 大成	2	0	1	0	2
11		渡部 一輝	6	0	3	0	0
12		トカチヨフ ヤン	6	0	3	0	2
13	*	結城 智史	11	0	5	1	1
14		橋 博	11	0	5	1	0
15	*	江原 慎太郎	7	0	3	1	3
HC 森 圭司/ TEAM							0
合計			83	9	68	6	14

兵庫県

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	井上 豊登	4	0	2	0	0
5	*	松尾 祐吾	16	1	4	5	0
6		島 宏人	0	0	0	0	2
7		梶見 爵	4	0	1	2	0
8	*	豊島 一輝	4	0	0	4	1
9	*	石原 翔悟	0	0	0	0	1
10		森脇 新大	0	0	0	0	1
11		東 達希	0	0	0	0	0
12	*	木下 侑也	0	0	0	0	2
13		土屋 陸生	2	0	1	0	0
14		安藤 優希	0	0	0	0	1
15		下田平 翔	10	0	4	2	1
HC 服部 達哉/ TEAM							0
合計			40	3	24	13	9

S スターター PTS 総得点 3P 3ポイントシュート 2P 2ポイントシュート FT フリースロー F ファウル

レポート

東京オールコート、兵庫ハーフコートのマンツーマンでスタートする。試合は、東京の激しいディフェンス、リバウンドからの速攻や、#9, #7の1対1、#13、#15のゴール下と怒濤の攻撃で始まる。兵庫はたまたずタイムアウトでたて直し、#5の速攻や#8、#15のゴール下のプレイで追いすがる。両チームともに持ち味を出し合うが、第1ピリオド23-13の東京リードで終了。第2ピリオドに入っても東京は全員で激しくディフェンスし、スティールやリバウンドからの速攻や#12、#14のゴール下のプレイで得点を重ね、手を緩めない。兵庫も#4、#15のドライブや#5のミドルシュートで何とか得点し追いすがすが、点差は広がり前半は48-21の東京リードで終了。

第3ピリオドに入り、兵庫はディフェンスをさらに激しくし、反撃を図る。しかし、東京は#7が冷静にボールをコントロールし、兵庫の反撃を許さない。兵庫も全員でリバウンド、ディフェンスを頑張り、#4、#5、#15を中心に得点を重ねるが東京の勢いは止まらない。65-28と東京のリードがさらに広がり第3ピリオドが終了する。第4ピリオド、東京は#14のゴール下の活躍を中心に得点していく。兵庫も自分たちの力を振り絞り果敢にプレイする。両チームともに出場した選手がそれぞれの持ち味を発揮するが、結局、83-40の東京の勝利で終了。東京が2回戦に駒を進めた。最後まで諦めずに果敢に戦った兵庫の姿勢も称えた。